



平成 17 年度 第 12 回 (2006 年 2 月度) 理事会開催通知

| | |
|------|---|
| 日 時 | 平成 18 年 2 月 18 日(土) 9 時 30 分～12 時 00 分 |
| 場 所 | 新赤坂事務所：港区赤坂 6 丁目 13 番-6 赤坂キャステール、ソフィア |
| 出席者 | 理事 : 植村、竹政、山内、神野、土屋、泉澤、上田、内田 監事 : 大久保、高柳 事務局 : 鹿野 (順不同、敬称略) (計 11 名) |
| 欠席者 | 理事(委任状有) : 冨田(植村)、廣瀬(植村)、関口(植村)、岡(内田)、 西村(大久保)、宮川(植村)、岡崎 監事 : |
| 議 題 | 特別事項 審議事項 1 新入会員承認(神野) 2 来年度予算に付いて(植村) 報告事項 1 鬼金 CPD2005 Status Report 鬼金分会 2006 年度事業計画(案)(大久保) 2 2006 年 10 月 29 日 FE 試験再開のお知らせ(NCEES/JPEC Agreement 締結による) (内田) 3 PE/FE 合格祝賀会内容(神野) 4 職業紹介エージェンシーと賛助会員に関する件(上田) 5 MOT 研究会発足の件(竹政) 6 耐震強度偽装事件研究会について(植村) 7 ラストリゾートのセミナーに付いて(植村) 8 1 月度会計報告(土屋) |
| 添付資料 | 添付 1. FE 合格祝賀会 添付 2. 2005 予算に基づく 2006 増減 添付 2A. 耐震強度疑惑事件に関する研究会発足の件 添付 3. H17 年度収支落着き見込(会計部会) 添付 4. プロジェクトマネジメント鬼金 CPD2005 コース Status Report 添付 5. 2005 年度ビジネス英語コースアンケート解析結果(教育部会鬼金分会) 添付 6. 2006 年度鬼金分会事業計画(案)(教育部会鬼金分会) 添付 7. MOT 研究会第 1 回議事録 添付 8. オレゴン州による日本での FE 試験の受験結果一覧表 添付 8A. 締結された NCEES/JPEC Agreement 文書 添付 9. 2006 Engineers-Week 参加提案 添付 10. HP にての求人情報掲載に関する議論叩き台 添付 11. 1 月度部会別会計報告 添付 12. 1 月末時点会費督促状況 |



| 議事内容 | アクション |
|--|------------------------|
| <p>● 審議事項</p> <p>1. 新入会員承認 (神野)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下記6名の新入会員と1名の退会が承認された。又10月のPE試験で3名のFE会員が合格した。 <ul style="list-style-type: none"> PE-0134千代田 将明さん (入会) FE-0296 木内 功二 (入会) FE-0297 森口 智規さん (入会) FE-0298 伏見 靖さん (入会) FE-0299 村西 健嗣さん (入会) FE-0300 中口幹雄さん (入会) PE合格者 <ul style="list-style-type: none"> FE-0243 冨田浩一さん FE-0233 青木豊加さん FE-0292 高木 裕登さん 退会 <ul style="list-style-type: none"> FE-0241 大冢 陽右さん ・ 会員総数： <ul style="list-style-type: none"> 理事会前 PE 118名 FE 214名 AF 15名 ST2名 合計349名 理事会後 PE 122名 FE 215名 AF 15名 ST2名 合計354名 ・ 会員の相互の理解を深めるために、WEB上に名前と受験部門、合格年記載の名簿を掲載してはどうかとの話があり、検討することとなった。 <p>2. 次年度予算について (植村)</p> <p>次年度の予算案を立てるにあたり、次の4点を重点強化項目として検討する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① PE試験受験の為の情報提供の場を増やす ② 地方(九州、名古屋...)の部会の場を支援する ③ 賛助会員の獲得を目指す ④ 自前のセミナー・勉強会の場を増やす <p>これに基づき、昨年度の予算案に対し増額すべき項目、減額すべき項目をそれぞれ黄・緑で示した(添付2)。これを参考にして、各部会で活動計画・予算案をこのフォーマットを利用してまとめ3月11日までに理事監事に送付、3月18日の理事会で審議する。</p> <p>また会計部会より今年度収支落着き見込み(添付3)を配布したので、各部会は活動の振返りを行うとともに、併せて実績支出額を参考にされたい。</p> <p>会計部会から願う点は3点。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 収支に大きく影響を与える要素としては、会費収入、教育事業。これらの数値が会全体の活動を大きく左右すること 2) 昨年度の都指摘にもあるように、原則すべての活動は定款に規程された3種類の事業(必要なら新たな事業を追加してもよい)に沿うものとするべきである。一般管理支出はできる限り縮小するよう指導されている。 3) NPO法人ステータス維持のため会員外向け公共福祉への貢献も必要 <p>活発な事業計画を提案していただき必要な予算は申請して欲しい。調整はその後で行う。4月1日からは新年度予算が確定しているようにしたい。</p> | <p>会員部会</p> <p>各部長</p> |



| 議事内容 | アクション |
|--|---------------------------------------|
| <p>④耐震強度偽装事件に絡む技術倫理に関する研究会の発足について (植村) 添付 2A のような計画をまとめた。会員に発信し、3 月のエンジニアズサロンをキックオフとし研究会を進める。</p> <p>⑤MOT研究会発足について (竹政) 『MOT研究会』という活動をHPで募集した所、13名の会員 応募があった。PE4名、FE9名が参加した。1月末、第1回 会合を実施した。6名が参加、MOT研究会を正式発足することにした。当面の内容に付いては、欧米のMOTの内容を調査研究していく ことになった。運営係、記録係、調査係を決めた。全会員には英文 Management of Technology の本を月5ページ読み概要をレポート作成、提出してもらうことになった。添付 7: 第 1 回議事録参照</p> <p>⑥職業紹介エージェンシーと賛助会員煮関する件 (上田) 添付 9 の 1-4 案について 3 月 11 日までに各自意見を上田まで。</p> <p>⑦ ラストリゾートセミナーについて (植村) 2 月 25 日に当協会後援、ラストリゾート社主催のセミナーを行う。現在 16 名の希望者が集まっている。</p> <p>⑧ エンジニアズウィーク参加の件 (上田) 3 月 25 日開催のアジレントテクノロジーの“「女性による女性のための科学実験教室・交流会」に参加予定。HPに参加募集をアップする。添付 10 参照</p> <p>⑨ 1 月度会計報告 (土屋) 添付 11 に収支バランスのグラフを示している。昨年 10 月のマクロバランスの危機から収支改善傾向。最終的には余剰金が出る模様。次年度以降での有効な活用あるいは中長期目的の引当金とすることなどが可能。(1 月末会費督促状況は添付 12 参照)</p> | <p>植村会長</p> <p>各理事、監事</p> <p>渉外部会</p> |

| | |
|------|-------|
| 承認 | 植村 大輔 |
| 承認 | 竹政 一夫 |
| 承認 | 山内 伸一 |
| 記録作成 | 土屋 雅彦 |